

芦屋市文化振興基本計画策定に向けたヒアリング調査の概要

(1) 調査の目的

芦屋市文化振興基本計画の見直しにあたり、あらゆる年代層の市民等から、芦屋市内の文化の現状、課題について改めて検討していただき、文化のジャンルについての範囲を広げるとともに、需要と供給のギャップを明らかにし、芦屋らしさのある新たな文化の施策展開の方向性を見出し、ていくことを目的とする。

また、文化のジャンルについての範囲を広げることに関連し、芦屋市の文化的・人的資源等の発掘のため、市内の飲食・ファッション・メディア関係等の事業者や、文化事業実施者にヒアリングを行う。

(2) 調査対象

1) 市民等

あらゆる年代層を対象とし、直接面談方式のヒアリングを実施する。

調査方法は、自由に意見を引き出せる方式をとり、「文化ってなんだろう」を切り口に、『文化』という定義を型にはまったものとし、自由な創造のもと、「芦屋市の文化のいい所、資源や魅力」、「芦屋市の文化の不足または問題となっている所」を参加者と考えながら、「今後どんなことができるだろう」を一緒に考える手法にて実施する。

①若者：県立芦屋高校の学生、芦屋大学の学生

・7月31日に試験的に芦屋大学の学生5名とヒアリングを行った。(資料①参照)

②子どもを持つ親（親の個人としての視点を含む）：PTA（幼稚園・小学校・中学校）

2) 事業者

文化のジャンルについての範囲を広げつつ、芦屋市の文化的・人的資源等の発掘のため、直接面談方式のヒアリングを実施する。

①事業者：飲食・ファッション・メディア関係等

②文化事業実施者（活動団体）

(3) 調査内容

①芦屋市の文化資源の現状認識（強み）

○市民文化・芸術文化（音楽、演劇、美術、文芸、写真、舞踊、映画など）

・市民文化（音楽、演劇、美術、文芸、写真、舞踊等市民の自主的活動など）

・民俗文化、伝承芸能など

- ・ 芸能, 生活文化, 国民娯楽
- ・ 上記に関わっている団体・人材
- 都市文化・自然, 風土 (山並み, 丘陵, 河川, 池沼, 田園, 公園・街中の緑等)
 - ・ 歴史資源, 文化財
 - ・ 街並み景観, 都市景観 (アメニティ)
 - ・ 産業文化 (文化的産業, デザインなど)
 - ・ 上記に関わっている団体・人材

②他都市と比較して芦屋市で不足しているところ (弱み)

- ・ 文化にふれ, 学習できる場
- ・ 表現や発信できる場
- ・ コミュニケーションできる場
- ・ 伝統を継承できる場 など

③芦屋市の地域特性を生かしてできるイベント企画

- ・ 市民 (市民, 文化事業者) を中心に進めること
- ・ 企業・事業者と連携して進めること
- ・ 行政を中心に進めること